

NEWS RELEASE

フジフィルム スクエア 企画写真展  
ハービー・山口写真展  
「HOPE 2026 ～シャッターを切ったとき、幸せだった。～」  
— ネガをポジに、希望とともに生きた50年 —

2026年3月



©Herbie Yamaguchi

2026年6月26日（金） - 7月16日（木）

会場：フジフィルム スクエア

入館無料

■ 写真展の見どころ

- ・ハービー・山口氏は幼少期に患った病を克服した経験から写真のテーマを「生きる希望」とし、50年以上にわたり撮影を続けてきました。本展では、1970年代に撮影された「二十歳の憧憬」や23歳の時にロンドンに渡った後、約10年の間に制作された初期作のヴィンテージ・プリントから、最新の作品まで厳選した約80点を展示します。
- ・写真活動に加え、エッセイの執筆やラジオパーソナリティ、作詞の提供など、ハービー・山口氏によって語られる言葉も広く注目を集めています。本展では、撮影時のエピソードやハービー・山口氏自身からのメッセージを作品に添えて展示するコーナーも設け、写真1枚1枚に込められた心温まるストーリーをご覧ください。

## ■ 写真展概要

フジフィルム スクエアでは、2026年6月26日（金）から7月16日（木）まで、ハービー・山口写真展「HOPE 2026 ～シャッターを切ったとき、幸せだった。～」を開催いたします。ハービー・山口氏は、23歳で大学卒業と共に渡ったロンドンにてパンクロックのムーブメントに出会い、生きたロンドンの姿を活写した作品が高く評価されている写真家です。50年以上のキャリアの中で撮影してきた対象は多岐にわたります。写真の活動以外にも、エッセイの執筆やラジオパーソナリティ、作詞の提供など、ハービー・山口氏によって語られる言葉も広く注目を集めています。ハービー・山口氏は幼少期に患った病歴の末、写真のテーマを「生きる希望」とし、写真を撮り続けてきました。明日への希望に目を向ける「HOPE」シリーズでは、東日本大震災やコロナ禍といった出来事の中でも、日常を送る人々の生命のほとぼしりを感じ取り、希望を絶やさずシャッターを切り続ける写真家の温かなまなざしを感じることができます。

本展では1970年代に撮影された「二十歳の憧憬」やロンドン時代の初期作のヴィンテージ・プリントから、最新作までを厳選した約80点の作品を展示します。また、会場内には、撮影時のエピソードやハービー・山口氏自身からのメッセージを作品に添えて展示するコーナーも設け、写真1枚1枚に込められた心温まるストーリーをご覧ください。

## ■ 開催概要

写真展名：フジフィルム スクエア 企画写真展

ハービー・山口写真展「HOPE 2026 ～シャッターを切ったとき、幸せだった。～」  
— ネガをポジに、希望とともに生きた50年—

開催期間：2026年6月26日（金）-7月16日（木）会期中無休

（開館時間：10:00～19:00・最終日14:00まで・入館は終了10分前まで）

※ 写真展はやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。ウェブサイト・電話でご確認ください。

会場：フジフィルム スクエア内、富士フィルムフォトサロン 東京 全スペース  
〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-3（東京ミッドタウン ミッドタウン・ウエスト1F）  
TEL 03-6271-3350（受付時間：平日 10:00～18:00）  
URL <https://fujifilmsquare.jp/>

※ 写真展情報は、開催日の前月からフジフィルム スクエアウェブサイトにて、ご案内しています。

※ 祝花はお断りいたします。



入館料：無料 ※ 企業メセナとして実施しており、より多くの方に楽しんでいただくために入館無料にしております。

作品点数：・全倍・全紙・半切サイズ等、カラー、モノクロ、約80点（予定）  
・フィルム・デジタル両方による作品。展示作品は、作家のヴィンテージ・プリントと描写性の高い富士フィルム製品「銀写真プリント」を使用。

巡回展：富士フィルムフォトサロン 大阪：2026年11月13日（金）-11月25日（水）（予定）

主催：富士フィルム株式会社

企画：合同会社PCT

後援：港区教育委員会

## ■ 出展者のプロフィール

ハービー・山口（ハービー・やまぐち）

1950年東京都出身。中学2年生で写真部に入る。大学卒業後23歳でロンドンに渡り、10年間在住、劇団の役者をする一方、写真活動に励む。折からのパンクロックのムーブメントの中、ミュージシャンのポートレートが高く評価された。幼年期に患った病歴の末、写真のテーマを「生きる希望」とし人物を撮り続けている。写真の活動に加え、エッセイの執筆、ラジオのパーソナリティー、ギタリスト布袋寅泰に歌詞を提供するほか、テレビ番組「徹子の部屋」に出演するなど幅広い年代層から支持されている。2011年度日本写真協会賞作家賞受賞。大阪芸術大学客員教授、九州産業大学客員教授を経て現在は日本写真芸術専門学校校長を務めている。作家名の「ハービー」は、敬愛するジャズフルート奏者ハービー・マンに由来する。

・公式HP <http://www.herbie-yamaguchi.com/>

## ■ 写真展併催イベント

### 1. 写真展開催記念トークイベント

- ・日時：7月5日（日）13:00～14:30
- ・会場：フジフィルム スクエア 2階特設会場（座席あり）  
（フジフィルム スクエアよりご入場ください。）  
座席は自由で、当日受付順に会場にご入場いただきます。
- ・お話：ハービー・山口氏
- ・聞き手：村上仁一氏（PCT・雑誌『写真』編集長）

#### 【予約】

要申込、ウェブサイト、電話にて6月1日（月）10時より受付開始予定、  
詳細は5月中旬頃フジフィルム スクエア ウェブサイトに掲載予定。

### 2. ハービー・山口ギャラリートーク

- ・日時 ①7月1日（水）17:30～、②7月2日（木）17:30～、③7月12日（日）13:00～  
各回30～40分間（参加無料・予約不要）
- ・お話：ハービー・山口氏

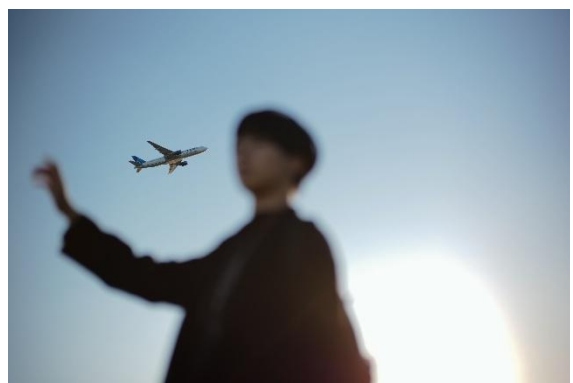
※ 写真展会場内で実施、座席はございません。予めご了承ください。

※ 写真展・イベントはやむを得ず、中止・変更させていただく場合がございます。予めご了承ください。

## ■ 出展作品の一部（予定）



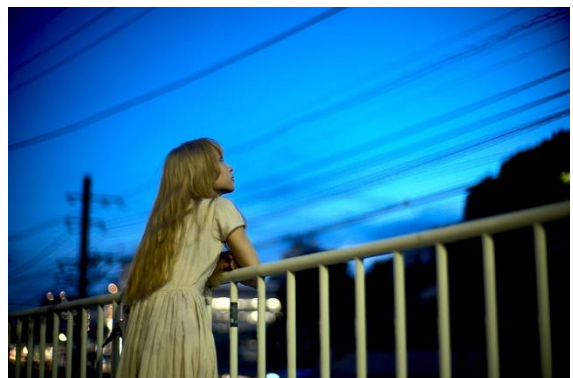
©Herbie Yamaguchi



©Herbie Yamaguchi



©Herbie Yamaguchi



©Herbie Yamaguchi



©Herbie Yamaguchi



©Herbie Yamaguchi

## ■ お問い合わせ先

### [ 写真使用についてのお願い ]

- ①本写真展の告知以外にはご使用にならないでください。また、使用終了後は、写真データを破棄ください。  
②トリミングはお控えください。③クレジット表記がある場合は明記ください。④写真の上に文字は載せないでください。

## FUJIFILM SQUARE

写真を中心とする富士フィルムのフォトギャラリー&ショップ。入館無料で、どなたでもお気軽にご覧いただけます。クオリティの高いさまざまなジャンルの写真を展示する富士フィルムフォトサロン、写真とカメラの歴史を学べる写真歴史博物館の他、最新の富士フィルム製品をご体験いただけるコーナー、さらには、スキンケア・サプリメント商品の販売を行うショップもあり、幅広い層の方にお楽しみいただける施設です。年中無休（年末年始を除く）、入館無料。



MEGENAT  
AWARDS  
2025

「フジフィルム スクエア」の活動は、公益社団法人企業メセナ協議会主催の「メセナアワード 2025」において、優秀賞 – 写真文化の継承と若手写真家の育成 – を受賞しました。①「富士フィルムフォトサロン」の運営、②「写真歴史博物館」の運営、③「若手写真家応援プロジェクト」の実施、④「フジフィルム・フォトコレクションⅡ」の収蔵・展示の4つの活動が総合的に評価されたものです。